LINK　～看護局長 都築久美子の語り～

未来の知多半島の医療を担う中学生の皆さんです！（2025年9月）

８月某日、知多半島総合医療センター、知多半島りんくう病院で働く職員の子供さん（中学生）を対象に病院職場体験が実施されました。プログラムのねらいとしては①医療現場の認知、②多様な職種理解、③病院の周知です。

医師を始め看護師・薬剤師・理学療法士・放射線技師・臨床検査技師・管理栄養士・救急救命士・臨床工学技士・視能訓練士の職員が一丸となってこのプログラムの構成や準備、当日対応をしました。

内容は多岐に渡り、ドクターカーの見学、車イスやベッドを使用した患者体験、ペアになって電子カルテを使用した模擬診察など緊張しながらも楽しく体験していました。またレントゲンのしくみや薬の調剤等医療に携わる様々な職種の理解、「そうなんだ！」という発見の連続に繋がる１日となったようでした。

そして参加してくれた中学生の皆さんは、日頃働く父母の姿をイメージしながら尊敬の念と偉大さにも繋がったのではないでしょうか。今後の職業選択につながり知多半島の医療を支える力に繋がることを期待しています。

さあ明日からも働く職員と、地域の皆様の最適な生活（well-being）の実現を目指します！